

## 平塚市教育委員会令和6年1月定例会会議録

### 開会の日時

令和6年1月26日（金）14時00分

### 会議の場所

平塚市役所本館7階720会議室

### 会議に出席した者

教育長 吉野 雅裕      委員 守屋 宣成      委員 菅野 和恵  
委員 大野 かおり      委員 増井 峰夫

### 説明のため出席した者

#### ◎教育総務部

教育総務部長	長谷川 孝	教育総務課長	野地 剛
教育総務課教育総務担当長	渋谷 悟朗	教育総務課企画担当長	松本 信哉
教育施設課長	金子 稔	学校給食課長	吉澤 達夫

#### ◎学校教育部

学校教育部長	工藤 直人	学務課長	市川 豊
教職員課長	宮坂 正	教育指導課長	若杉 真由美
教育研究所長	伊沢 秀樹	子ども教育相談センター所長	伊藤 裕香

#### ◎社会教育部

社会教育部長	平井 悟	社会教育課長	田中 恵美子
中央公民館長	鳥居 昌	スポーツ課長	佐野 公宣
中央図書館長	藤田 忠義	博物館長	浜野 達也
美術館管理担当長	高倉 謙一		

### 会議の概要

#### 【開会宣言】

#### ○吉野教育長

これから教育委員会令和6年1月定例会を開会する。

#### 【前回会議録の承認】

#### ○吉野教育長

始めに、令和5年12月定例会の会議録の承認をお願いする。

（訂正等の意見なし）

## ○吉野教育長

訂正等の意見がないので、令和5年12月定例会の会議録は承認されたものとする。

## 1 教育長報告

### (1)優良公民館表彰の受賞について

#### 【報告】

## ○吉野教育長

なでしこ公民館が優良公民館表彰を受賞したことを報告するものである。

詳細は、中央公民館長から報告する。

## ○中央公民館長

平塚市立なでしこ公民館が、文部科学省所管の第76回優良公民館表彰で本市初となる優秀館に選出され、2月9日（金）に文部科学省で表彰式が行われる。

今回、全国で69館が優良公民館表彰を受賞し、県内では綾瀬市立中央公民館と2館が、共に優秀館に選ばれている。本市の優良公民館表彰受賞は11例目で、7年連続となる。

なでしこ公民館では、隣接している「なでしこ公園」を活用し、地域団体や小学生らによる花いっぱいの花壇づくりや「なでしこ大BONおどり大会」が行われている。特に「なでしこ大BONおどり大会」は、公民館で民謡やダンスを練習した児童が「BONおどりリーダー」となり、卒業後に教える側となる仕組みが出来ており、これらの持続する未来づくりへの取組が評価され、今回の受賞につながったものと考えている。

#### 【質疑】

## ○大野委員

平塚市は7年連続の受賞とのことで、市内の小学校区にほぼ1つ公民館があるという市の特色が評価されているように感じた。

毎年秋頃に中央公民館で公民館フェスティバルが開催されている。これは、日頃地区公民館で活動している団体やサークルが、中央公民館の大きなステージで練習の成果を発表する場であり、2日間に渡り開催されているが、最初に見に行った時には、これだけ多くの方々が市内の公民館でサークル活動を楽しんでいるのかと驚いた。演目については、ダンス、合唱、楽器の演奏など多種多様であり、このステージを目指し、日頃公民館で取り組んでこられたのだろうと想像できた。観客席は、満員というわけではなかったが、家族や知り合いの方が応援に来られている様子で、暖かい雰囲気であった。

今は公民館フェスティバルの話をしていただいたが、他にも公民館では様々な行事や活動を行っているかと思う。老若男女を問わず、自分の好きなことややってみたいことを仲間と一緒にできる居場所があることは、市民活動にとって、大変心豊かなことだと思う。

今年の元日には能登半島で大きな地震が発生し、多くの方々が被災され、今なお避難所で生活している人がいることが連日報道されているが、今回自然災害が起きたときの地域コミュニティの大切さが再認識されていると思っている。

平塚市には中央公民館があり、更に数多くの地区公民館がある全国でも数少ない評価の高い自治体だと聞いたことがある。今後も、公民館が社会教育の拠点として、また地域コミュニティの場所として、有効な働きをしていただければと願っている。

## ○菅野委員

先日の「広報ひらつか」でもちょうど公民館の特集がされていた。

公民館は生涯学習の拠点であり、高齢者や子どもの居場所づくりの要となるような機能を持っていると思っている。今回選出されたことを市民の方々へ更に PR することで、公民館の活動がもっと盛り上がっていくのではないかと思う。

## (2)令和5年度市内駅伝競走大会の結果について

### 【報告】

#### ○吉野教育長

令和6年1月7日に市内で行われた大会結果を報告するものである。

詳細は、スポーツ課長から報告する。

#### ○スポーツ課長

新春恒例の市内駅伝競走大会を1月7日（日）に開催し、第70回地区対抗の部及び第63回市内実業団対抗の部を併せて行った。

コースについては、レモンガススタジアム平塚をスタートして、ゴールの山城中学校を目指すもので、地区対抗は女子区を含む6区間28.2km、実業団対抗は5区間26.0kmで行われ、地区対抗の部では19地区の参加と友好都市の伊豆市に今年も特別参加いただいた。実業団対抗の部は、9チームの参加のうち2チームがオープン参加であった。地区対抗と実業団を合わせると、全29チームの参加となる。

地区対抗の部は、南原地区が2位に大差をつけ2連覇を果たし、実業団対抗の部は、平塚市役所が2連覇となっている。また、60歳以上で出場された選手1人に平塚市陸上競技協会OBなでしこ会から特別表彰のメダルが授与された。

なお、今大会から警察の指導により安全面に十分配慮したコースとするため、極力幹線道路を通らないよう、第2区から第5区のコースを大幅に変更した。それに併せて参加資格の見直しを行い、第2区では男子中学生の出走も可能とした。

中学生へも出場機会を拡げることにより、地区では選手派遣の選択肢が広がり負担軽減が図れたとともに、出走した子どもたちにとっても地域事業への参加という将来につながる貴重な経験ができたのではないかと考えている。

参考となるが、出場19地区のうち女子区では14人の女子中学生、第2区では7人の男子中学生が出走した。

大会開催中は、市のウェブサイトとは別に開設している「ひらつかスポーツナビ」のウェブサイトで順次中継所での順位速報をお知らせした。

昨年度はコロナ禍での開催ということもあり、開会式・閉会式の簡素化や各中継所で入

場制限を設けたが、今年度は通常開催とし、参加チーム数もほぼコロナ前に近づいての開催となった。

**【質疑】**

なし

**(3)その他**

なし

**2 その他**

なし

**【閉会宣言】**

**○吉野教育長**

以上で全ての案件の審議が終了したので、教育委員会1月定例会は閉会する。

**(14時13分閉会)**